

公益社団法人奈良県看護協会
2023 年度認定看護管理者教育課程
ファーストレベル・セカンドレベル
募集要項

2023 年 2 月 27 日修正版

公益社団法人 奈良県看護協会
教育事業部
〒634-0813 奈良県橿原市四条町 288-8
TEL 0744-25-4014
FAX 0744-24-7703

2023 年度認定看護管理者教育課程募集要項

1 公益社団法人 日本看護協会 認定看護管理者制度の目的

公益社団法人日本看護協会認定看護管理者制度は、多様なヘルスケアニーズをもつ個人、家族及び地域住民に対して、質の高い組織的看護サービスを提供することを目指し、一定の基準に基づいた看護管理者を育成する体制を整え、看護管理者の資質と看護の水準の維持及び向上に寄与することにより、保健医療福祉に貢献することを目的とする。

公益社団法人 日本看護協会 認定看護管理者規定 第1章総則 第1条

2 教育目的・目標

	ファーストレベル	セカンドレベル
教育目的	看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。	看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な基本的知識・技術・態度を習得する。
到達目標	1、ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。 2、組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる。 3、看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。	1、組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成に向けた看護管理過程を展開できる。 2、保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。

3 教科目と時間

教育内容・日程は別添資料1・2・3・4参照

ファーストレベル		セカンドレベル	
教科目	時間数	教科目	時間数
ヘルスケアシステム論Ⅰ	15	ヘルスケアシステム論Ⅱ	15
組織管理論Ⅰ	15	組織管理論Ⅱ	30
人材管理Ⅰ	30	人材管理Ⅱ	45
資源管理Ⅰ	15	資源管理Ⅱ	15
質管理Ⅰ	15	質管理Ⅱ	30
統合演習Ⅰ	15	統合演習Ⅱ	45
		実習 1日	
奈良県独自科目	24	奈良県独自科目	9
開閉講式・オリエンテーション	3	開閉講式・オリエンテーション	3
総時間	132	総時間	192

※ファーストレベル2教科目・セカンドレベル2教科目に公開講座があります。

※セカンドレベルはセカンドレベル修了者にオープン講座（聴講のみ）があります。

4 受講要件・開催期間・申し込み期間・方法・経費

	ファーストレベル	セカンドレベル
定員	60 名	40 名
受講要件	① 日本国の看護師免許を有する者。 ② 看護師免許を取得後、実務経験が通算 5 年以上ある者。 ③ 管理業務に関心がある者。 ④ 全科目を受講できる者。	① 日本国の看護師免許を有する者。 ② 看護師免許を取得後、実務経験が通算 5 年以上ある者。 ③ 認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者。または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に 1 年以上就いている者。 （副看護部長相当の職位とは保健医療福祉に関連した組織において、看護管理を行う立場を指す） ④ 全科目を受講できる者。
開催期間	別添資料 2 参照 6 月 13 日（火）～7 月 28 日（金） 22 日間	別添資料 4 参照 9 月 20 日（水）～11 月 21 日（火）32 日間 実習 1 日：11 月 1 日（水）～11 月 10 日（金）のうち 1 日（祝日を除く）
	※土日開催あり、日程変更になる場合があります ※予備日を含む日程を記載	
研修時間	原則 9 時 30 分～16 時 30 分	
申込期間	3 月 13 日（月）～3 月 22 日（水） 13 時必着	6 月 19 日（月）～6 月 28 日（水） 13 時必着
申込方法	郵送・持参・Web のいずれか	
研修場所	奈良県看護研修センター 変更になる場合があります。	
受講決定	4 月中本人記載宛に発送又は返信	7 月末頃本人記載宛に発送又は返信
受講料 （税込）	会員 114,840 円 非会員 183,260 円	会員 237,050 円 非会員 380,050 円 2024 年実践報告会参加費を含む
	会員とは日本看護協会会員となります。 受講料振込手数料は自己負担になります。 原則受講決定後一旦納入された経費は返却いたしません。	
科目再審査料 （税込）	会員 2,200 円・非会員 3,300 円	会員 5,500 円・非会員 8,250 円
	1 教科目につき 1 回のみ可能です。	
次期再履修料	会員 13,200 円・非会員 19,800 円 （15 時間につき・税込）	会員 16,500 円・非会員 24,750 円 （15 時間につき・税込）

5 提出書類

書 類 提出方法	ファースト		セカンド	
	郵送 持参	Web	郵送 持参	Web
①申込書（様式1） P9参照 郵送・持参：HP から用紙をダウンロード可 Web：HP→教育・研修→認定看護管理者教育課程→「ホームページから申込」を選択入力フォームに登録する	同封	入力フォームを提出	同封	入力フォームを提出
②ファースト課題レポート（様式2） P10参照 ダウンロード可 <u>表題</u> をつけ自己の課題を踏まえ受講動機を 200 字以内に述べる。文章の最後に（ ）で文字数を記入する	同封	PDF ファイルに変換後登録	—	—
③セカンド課題レポート（様式2） P10 参照 ダウンロード可 <u>表題</u> をつけ現在の立場から管理的視点で自部署の課題を 1500 字以内で述べる。文章の最後に（ ）で文字数を記入する	—	—	同封	PDF ファイルに変換後登録
④保健師・助産師・看護師免許証の写し A4サイズに縮小したもの1部、裏面に記載がある場合も写しを提出 保健師・助産師の場合は看護師免許も提出	同封	PDF ファイルに変換後登録	同封	PDF ファイルに変換後登録
⑤ファーストレベル研修修了者（必要時）は修了書の写し A4 サイズで提出、または職位を証明（必要時）の場合は勤務証明書で確認できればよい	—	—	同封	PDF ファイルに変換後登録
⑥勤務証明書 P11（様式3）ダウンロード可 1 施設で実務経験経験が通算 5 年を確認できる場合は 1 枚でよい	同封	PDF ファイルに変換後登録	同封	PDF ファイルに変換後登録
⑦返信用封筒 角 2サイズ 郵便番号・住所（施設又は自宅）申込者のお名前宛を記載し同封する（切手不要）	同封	不要	同封	不要

- ・提出書類の不備は無効となります。全てを正確に記載提出してください。
- ・受講申込書は受講レベル箇所に☑を付けてください。
- ・実務年数は開講月 1 日を基準として記入ください。
- ・実務経験年数は准看護師経験、産前産後休業、育児休業、介護休業、休業・休職中は除いてください。1 ヶ月間 15 日間勤務した場合は勤務と算出してください。
- ・レポートは自身の表題をつけ MS 明朝 10.5 ポイントで記載する。指定の用紙以外でも可能

6 受講者の選考方法・選考基準

認定看護管理者教育運営委員会で、以下の選考基準に基づき可否を決定する。

- 1) 受講要件を満たしていること
- 2) 課題レポート

レポート選考基準

項目	内容
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの課題が整理され述べられている ・課題と動機の整合性がある
文章表現	<ul style="list-style-type: none"> ・提出基準が（書式・文字数）が守られている ・誤字、脱字がない

会員・非会員は選考の基準ではない

7 授業形態について

- ・感染の状況等により遠隔授業及び運営方法が変更になる場合があります。
- ・遠隔授業に対しては施設または自宅での受講ができるように準備を整えてください。
- ・セカンドレベル研修はオープン講座としてセカンドレベル研修修了者の聴講があります。

8 修了要件について

1) 修了要件

- ① 出席状況：各教科目時間数の5分の4以上の出席があること。
- ② 教科目レポートの評価：教科目の合格

2) 教科目レポート評価方法

- ① 教科目レポート：当該教科目担当講師が評価基準に基づき評価する。
各科目指定の期日内にレポートを提出する。
- ③ 評定基準は「A：80点以上、B：79～70点、C：69～60点、D：59点以下」
の4段階評価とし、C以上を合格点とする。
- ④ D評価（不合格）の場合は、1回に限り再評価を受けることができる。
再評価を受ける場合は、指定の期日内にレポートを提出する。

9 提出先

1) 郵送・持参の場合

〒634-0813 奈良県橿原市四条町 288-8
公益社団法人奈良県看護協会
「認定看護管理者教育課程受講申込書類在中」と明記

2) Web の場合

奈良県看護協会 HP→教育・研修→認定看護管理者教育課程「ホームページから申込」から提出する

10 その他

- ・受講申込時の個人情報は、研修会申込みに伴う書類発送、学習ニーズや研修評価に伴う調査依頼、研修案内に用い、目的の範囲を超えて個人情報を取り扱うことはいたしません。
- ・提出いただいた書類は返却いたしませんのでご了承ください。
- ・応募数定員に満たない場合は当協会 HP 追加募集を掲載いたします。

教育目的		看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する					
到達目標		1、ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる 2、組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる 3、看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる					
	教科目	時間	単元	教育内容	時間	講義内 演習 時間	
基準 カリ キュ ラム	ヘルスケアシステム論Ⅰ	15	社会保障制度概論	・社会保障制度の体系 ・社会保障の関連法規	6	2	
			保健医療福祉サービスの提供体制	・保健医療福祉制度の体系 地域包括ケアシステム 地域共生社会			
		ヘルスケアサービスにおける看護の役割	15	保健医療福祉関連職種理解	・保健医療福祉関連職種の理解	3	0
				看護連携	・看護連携		
				地域連携における看護職の役割	・地域連携における看護職の役割		
		組織管理論Ⅰ	15	組織マネジメント概論	・組織マネジメントに関する基礎知識 ・看護管理の基礎知識	6	0
	看護実践における倫理			・看護実践における倫理的課題 ・倫理的意思決定への支援	9		
	人材管理Ⅰ	30	労務管理の基礎知識	・労働法規		3	0
				・就業規則			
				・健康管理（メンタルヘルスを含む）			
		看護チームのマネジメント	15	・雇用形態	9	0	
				・勤務体制			
				・ワークライフバランス			
	人材育成の基礎知識	15	・ハラスメント防止	6	3		
			・チームマネジメント				
・看護ケア提供方式							
資源管理Ⅰ	15	経営資源と管理の基礎知識	・リーダシップとメンバーシップ ・准看護師への指示と業務 ・看護補助者の活用	6	0		
		看護実践における情報管理	・コミュニケーション ・ファシリテーション			9	0
質管理Ⅰ	15	看護サービスの質管理	・成人学習の原理 ・役割理論 ・動機づけ理論 ・人材育成の方法	6	0		
			診療・介護報酬制度の理解 ・経営指標の理解 ・看護活動の経済的効果			9	0
統合演習Ⅰ	15	演習	・医療・看護情報の種類と特徴 ・情報管理における倫理的課題（情報リテラシー）	6	0		
			・サービスの基本概念 ・看護サービスの質評価と改善 ・看護サービスと記録 ・看護サービスの安全管理			9	0
					15		
					105	20	
追加 科目	奈良県独自科目	24	看護実践のレポート・計画書に活かせる思考と書き方	与えられた課題、テーマの中で、把握すべき情報(材料)を基に論理展開を組み立て結論を導く文書作成方法を身につける。	6	0	
			問題解決思考	・論理的思考 ・問題解決思考 ・問題解決過程	12	3	
			リフレクション	・学習内容を活用し自身の受講動機と課題解決にむけた対応策を共有する	6	6	
	開閉講式オリエンテーション	3			3	0	
総時間					132	29	

2023年度 認定看護管理者教育課程ファーストレベル講義日程表 別添資料2

月日	曜	9：30～12：30	13：30～16：30
6/13	火	開講式 オリエンテーション	人材管理Ⅰ 労務管理の基礎知識
6/14	水	人材管理Ⅰ 看護チームのマネジメント	人材管理Ⅰ 看護チームのマネジメント
6/15	木	資源管理Ⅰ 経営資源と管理の基礎知識	資源管理Ⅰ 経営資源と管理の基礎知識
6/16	金	看護実践のレポート・計画書に活かせる 思考と書き方	看護実践のレポート・計画書に活かせる 思考と書き方
6/19	月	人材管理Ⅰ 看護チームのマネジメント	人材管理Ⅰ 看護チームのマネジメント
6/20	火	質管理Ⅰ 看護サービスの質管理	資源管理Ⅰ 看護実践における情報管理
6/21	水	資源管理Ⅰ 看護実践における情報管理	資源管理Ⅰ 看護実践における情報管理
6/29	木	ヘルスケアシステム論Ⅰ 社会保障制度概論・保健医療福祉サービスの提供体制	ヘルスケアシステム論Ⅰ 社会保障制度概論・保健医療福祉サービスの提供体制
6/30	金	人材管理Ⅰ 人材育成の基礎知識	人材管理Ⅰ 人材育成の基礎知識
7/1	土	組織管理論Ⅰ 組織マネジメント概論 【公開講座】	組織管理論Ⅰ 組織マネジメント概論 【公開講座】
7/2	日	予備日	
7/3	月	組織管理論Ⅰ 看護実践における倫理	組織管理論Ⅰ 看護実践における倫理
7/4	火	質管理Ⅰ 看護サービスの質管理	質管理Ⅰ 看護サービスの質管理
7/12	水	問題解決思考	問題解決思考
7/13	木	問題解決思考	問題解決思考
7/14	金	予備日	
7/15	土	質管理Ⅰ 看護サービスの質管理	質管理Ⅰ 看護サービスの質管理
7/18	火	組織管理論Ⅰ 看護実践における倫理	人材管理Ⅰ 人材育成の基礎知識
7/19	水	人材管理Ⅰ 人材育成の基礎知識	人材管理Ⅰ 人材育成の基礎知識
7/20	木	ヘルスケアシステム論Ⅰ ヘルスケアサービスにおける看護の役割	統合演習
7/22	土	ヘルスケアシステム論Ⅰ ヘルスケアサービスにおける看護の役割 【公開講座】	ヘルスケアシステム論Ⅰ ヘルスケアサービスにおける看護の役割 【公開講座】
7/26	水	統合演習	統合演習
7/27	木	統合演習	統合演習
7/28	金	リフレクション	リフレクション・終講式

教育目的		看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。				
到達目標		1、組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成に向けた看護管理過程を展開できる。 2、保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。				
	教科目	時間	単元	教育内容	時間	講義内 演習時間
基準 カリ キュ ラム	ヘルスケアシステム論Ⅱ	15	社会保障制度の現状と課題	・日本における社会保障 人口構造、疾病構造の変化 社会保障費の（財源）構造と推移	3	0
			保健医療福祉サービスの現状と課題	・保健医療福祉サービスの提供内容の実際 病院、看護小規模多機能型居宅介護、訪問看護ステーション等	6	2
			ヘルスケアサービスにおける多職種連携	・多職種によるチームケア提供の実際と課題	6	0
	組織管理論Ⅱ	30	組織マネジメントの実際	・組織分析 ・組織の変革 ・組織の意思決定	6 12	0 3
			看護管理における倫理	・看護管理における倫理的課題 ・看護管理における倫理的意識決定	12	0
	人材管理Ⅱ	45	人事・労務管理	・人員配置	15	0
				・勤務計画		
				・ワークライフバランスの推進		
			・ストレスマネジメント	3	0	
	・タイムマネジメント					
	・労働災害とその対策					
	・労務管理に関する今日的課題	6	3			
	・ハラスメント予防策と対応					
	多職種チームのマネジメント	12	0	・人的資源の活用	12	0
				・リーダーシップの実際 ・看護補助者の育成 ・コンフリクトマネジメント		
	人材を育てるマネジメント	9	0	・キャリア開発支援	9	0
				・人材育成計画		
	資源管理Ⅱ	15	経営資源と管理の実際	・医業収支	6	0
				・経営指標の活用 ・費用対効果 ・適切な療養環境の整備		
	看護管理における情報管理	9	0	看護の評価・改善のための情報活用	9	0
質管理Ⅱ	30	看護サービスの質保証	・クオリティマネジメント	15	3	
			医療・看護におけるクオリティマネジメント			
		安全管理	・安全管理の実際	9	0	
			・安全管理教育 ・法令遵守 ・災害対策			
統合演習Ⅱ	45	演習	・自部署の組織分析に基づいた実践可能な改善計画を立案する	39	45	
		実習	・地域連携を理解するための他施設実習を行う（実習施設は受講者自身の所属種別以外の施設とする）	6		
					180	56
追加 科目	奈良県独自科目	9	看護管理に活かすリフレクション	看護管理者としてリフレクションを学び自ら成長する	6	0
			リフレクション	・学習内容を活用し自部署における課題解決にむけた改善計画の立案を共有する	3	3
	開閉講式オリエンテーション	3			3	0
総時間					192	59

2023年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル日程表

別添資料4

月日	曜	9:30~12:30	13:30~16:30
9/20	水	開講式 オリエンテーション	人材管理Ⅱ 人事・労務管理 *
9/21	木	資源管理Ⅱ 経営資源と管理の実際 *	資源管理Ⅱ 経営資源と管理の実際 *
9/22	金	ヘルスケアシステム論Ⅱ 保健医療福祉サービスの現状と課題 *	ヘルスケアシステム論Ⅱ 保健医療福祉サービスの現状と課題 *
9/26	火	質管理Ⅱ 安全管理 災害対策 【公開講座】 *	質管理Ⅱ 安全管理 災害対策 【公開講座】 *
9/27	水	ヘルスケアシステム論Ⅱ 社会保障制度の現状と課題 *	資源管理Ⅱ 看護管理における情報管理 *
9/28	木	資源管理Ⅱ 看護管理における情報管理 *	資源管理Ⅱ 看護管理における情報管理 *
9/29	金	質管理Ⅱ 看護サービスの質保証 *	人材管理Ⅱ 人材を育てるマネジメント *
9/30	土	質管理Ⅱ 看護サービスの質保証 *	質管理Ⅱ 看護サービスの質保証 *
10/2	月	人材管理Ⅱ 人材を育てるマネジメント *	人材管理Ⅱ 人材を育てるマネジメント *
10/3	火	組織管理論Ⅱ 組織マネジメントの実際 *	組織管理論Ⅱ 組織マネジメントの実際 *
10/4	水	組織管理論Ⅱ 組織マネジメントの実際 *	組織管理論Ⅱ 組織マネジメントの実際 *
10/5	木	組織管理論Ⅱ 看護管理における倫理 *	組織管理論Ⅱ 看護管理における倫理 *
10/6	金	質管理Ⅱ 看護サービスの質保証 *	質管理Ⅱ 看護サービスの質保証 *
10/7	土	予備日	
10/10	火	組織管理論Ⅱ 看護管理における倫理 *	組織管理論Ⅱ 看護管理における倫理 *
10/11	水	予備日	
10/12	木	人材管理Ⅱ 多職種チームのマネジメント *	人材管理Ⅱ 多職種チームのマネジメント *
10/13	金	看護管理に活用するリフレクション	看護管理に活用するリフレクション
10/21	土	組織管理論Ⅱ 組織マネジメントの実際 【公開講座】 *	組織管理論Ⅱ 組織マネジメントの実際 【公開講座】 *
10/24	火	人材管理Ⅱ 多職種チームのマネジメント *	人材管理Ⅱ 多職種チームのマネジメント *
10/25	水	質管理Ⅱ 安全管理 *	質管理Ⅱ 安全管理 *
10/26	木	質管理Ⅱ 安全管理 *	人材管理Ⅱ 人事・労務管理 *
10/27	金	人材管理Ⅱ 人事・労務管理 *	人材管理Ⅱ 人事・労務管理 *
10/28	土	人材管理Ⅱ 人事・労務管理 *	人材管理Ⅱ 人事・労務管理 *
10/30	月	ヘルスケアシステム論Ⅱ ヘルスケアサービスにおける多職種連携 *	ヘルスケアシステム論Ⅱ ヘルスケアサービスにおける多職種連携 *
10/31	火	人材管理Ⅱ 多職種チームのマネジメント *	人材管理Ⅱ 多職種チームのマネジメント *
11/1	水	実習日	
11/2	木	実習日	
11/6	月	実習日	
11/7	火	実習日	
11/8	水	実習日	
11/9	木	実習日	
11/10	金	実習日	
11/13	月	統合演習	統合演習
11/14	火	統合演習	統合演習
11/15	水	統合演習	統合演習
11/16	木	統合演習	統合演習
11/17	金	統合演習	統合演習
11/20	月	統合演習	統合演習
11/21	火	統合演習	リフレクション・閉講式

・都合により日程を変更する場合がありますが、ご了承ください。

*印はセカンドレベル研修者のためのオープン講座

2023年度奈良県看護協会認定看護管理者教育課程受講申込書

- ファーストレベル受講申込書（申込期間 3 月 13 日～3 月 22 日 13 時必着）
- セカンドレベル受講申込書（申込期間 6 月 19 日～6 月 28 日 13 時必着）
- 各レベル共通のためどちらかを☑ください

※記入日 西暦 年 月 日

ふりがな	
※必須 氏名	
ふりがな	
※必須 自宅住所	〒
※必須 自宅または携帯電話	
※必須 実務経験年数	年 月
ふりがな	
施設名	
セカンドレベル申込者のみ記入欄	
看護職賠償保険の加入	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
<p>統合演習Ⅱ実習先は自施設の役割を理解するために近隣地域の施設や連携している機関から希望する場所を記載する。（行政機関・医療機関・訪問看護ステーション・福祉施設・地域包括支援センターなど）日程は実習期間内を選択する。実習依頼は当協会が行いますが変更いただくこともあります。</p> <p>・第1希望 11月 日（曜日）施設名（ ）部門（ ）</p> <p>〔理由〕</p> <p>・第2希望 11月 日（曜日）施設名（ ）部門（ ）</p> <p>〔理由〕</p>	

記入上の注意

- ・必須項目は必ず記載し、施設名は任意の記載となります。記載の不備は無効となります。
- ・実務年数は開講月1日を基準としてください。
- ・実務経験年数は准看護師経験、産前産後休業、育児休業、介護休業、休業・休職中は除いてください。1ヶ月に15日を勤務した場合は勤務した事と算出してください。

（個人情報の取り扱いについて）

受講申込に際して得た個人情報は、研修会申込みに伴う書類発送、学習ニーズや研修評価に伴う調査依頼、研修案内に用い、この目的の範囲を超えて、個人情報を取り扱うことはいたしません。

※表題

サブタイトル

氏名

職位

記載時の注意点

1. パソコン使用
2. A4 サイズ 1 枚 縦長 横書き 10.5 ポイント,MS 明朝体で全て記載する
3. 入力時、「※表題」は消し、ご自身の内容に応じた表題をつけてください。
4. 職位は自施設の職位ではなく、看護部長職・所長職・副看護部長職・師長職・副師長職・主任職・副主任職・スタッフより選び記載
5. 文章最後に(文字数)を記載する
6. 奈良県看護協会 H P より用紙はダウンロードできます

※枠線のどこかをクリックし、キーボード「Delete」ボタンを押すと削除し用紙として使用できます

※本文レポートの外枠はご使用ください

認定看護管理者教育課程

勤 務 証 明 書

西暦 年 月 日

氏名 _____

1、在職期間（実務経験5年以上を証明する ファースト・セカンド共通）

複数施設で実務5年を証明する場合は1施設1枚を提出する

西暦 _____年 _____月より _____年 _____月まで 勤務していた。

西暦 _____年 _____月より 勤務中である。

上記を証明します。

通算 _____年 _____ヶ月間

2、職位の証明

（セカンド申込時ファーストレベル未修了で看護部長・副看護部長を証明時記入する）

西暦 _____年 _____月より _____年 _____月まで 職位 _____

西暦 _____年 _____月より 職位 _____ である

上記を証明します。

施設名：

所在地：

施設長名：

印